

## 第5回 模擬試験 答案用紙

### 工業簿記

問1

購入原料価格差異	円 ( )
----------	-------

問2

原料費の差異分析	原料配合差異	円 ( )
	原料歩留差異	円 ( )
直接労務費の差異分析	労働賃率差異	円 ( )
	労働能率差異	円 ( )
	労働歩留差異	円 ( )
変動製造間接費の差異分析	予算差異	円 ( )
	能率差異	円 ( )
	歩留差異	円 ( )
標準変動費差異合計		円 ( )

問1、問2の ( ) 内には「有利な差異」の場合には F と記入すること。  
「不利な差異」の場合には U と記入すること。

問3

#### 実際損益計算書

(単位：円)

売上高	( )
標準変動費	( )
標準貢献利益	( )
標準変動費差異	( )
実際貢献利益	( )
固定製造間接費	( )
棚卸資産金利	( )
設備金利	( )
販売手数料	( )
固定一般管理費	( )
残余利益	( )

## 原 価 計 算

### 問 1

内製か購入かの問題を解くための原価計算目的は、である。

(注) 上のの中に該当する原価計算目的の番号を記入しなさい。

### 問 2

(1) 部品 G 3 の 1 個あたりの変動製造間接費 =  万円

(2) 月間の固定製造間接費 =  万円

### 問 3

部品 G 3 の総需要量が  個を超えるならば、

$\left\{ \begin{array}{l} \text{内製} \\ \text{購入} \end{array} \right\}$  が有利である。  
 $\left\{ \begin{array}{l} \text{内製、購入のどちらでもよい。} \end{array} \right\}$

(注) 該当する文字を○で囲み、不要な文字を消しなさい。

### 問 4

(1) 部品 G 3 の総需要量が5,500個～6,500個の範囲にあるかぎり、

$\left\{ \begin{array}{l} \text{内製} \\ \text{購入} \end{array} \right\}$  が有利である。  
 $\left\{ \begin{array}{l} \text{内製、購入のどちらでもよい。} \end{array} \right\}$

(注) 該当する文字を○で囲み、不要な文字を消しなさい。

(2) 部品 G 3 の総需要量が6,500個以上であって、

内製のコストと購入のコストが等しくなる総需要量 =  個

### 問 5

甲案（部品 G 3 を内製する案）のほうが、乙案（部品 G 3 を購入し、部品 N 5 を内製する案）

よりもコストが  万円だけ  $\left\{ \begin{array}{l} \text{高い} \\ \text{低い} \end{array} \right\}$  ので  $\left\{ \begin{array}{l} \text{甲案} \\ \text{乙案} \end{array} \right\}$  のほうが有利である。

(注) 該当する文字を○で囲み、不要な文字を消しなさい。

工 業 簿 記

予定損益計算書（単位：千円）

	7 月	8 月
売上高	( )	( )
売上原価	( )	( )
売上総利益	( )	( )
販売費・一般管理費	( )	( )
営業利益	( )	( )
支払利息	( )	( )
経常利益	( )	( )
固定資産売却損益	( )	( )
税引前当期純利益	( )	( )
法人税等	( )	( )
当期純利益	( )	( )

（注）固定資産売却損益は、売却損の場合、金額の前に△をつけること。

予定貸借対照表（単位：千円）

	7 月	8 月
流動資産		
現金	( )	( )
売掛金	( )	( )
製品	( )	( )
原料	( )	( )
小計	( )	( )
固定資産		
土地	( )	( )
建物・設備	( )	( )
減価償却累計額	( )	( )
小計	( )	( )
合 計	( )	( )
流動負債		
買掛金	( )	( )
借入金	( )	( )
未払法人税等	( )	( )
小計	( )	( )
固定負債	( )	( )
株主資本		
資本金	( )	( )
資本剰余金	( )	( )
利益剰余金	( )	( )
小計	( )	( )
合 計	( )	( )

---

原 価 計 算
---------

---

問 1  円

問 2  円

問 3  円

問 4  年

問 5  円